



かわたな町

町民と議会を結ぶ情報誌

<http://www.kawatana.jp/>

議会だより

No.144

発行
平成31年
4月25日(木)



昭和33年頃、役場庁舎屋上から見た役場前交差点付近

P.2 3月定例会

平成31年度予算可決!

P.8 閉会中の調査結果報告

P.10 一般質問 5名が登壇!

現在の写真



度予算可決

114億3371万円～

3月定例会

概要

3月定例会は、3月4日から20日まで開催され、平成31年度一般会計予算などの審議を行い、人事案件、条例改正、平成30年度補正予算などを含めた、すべての議案を原案のとおり可決しました。

平成31年度の主要事業は新庁舎建設事業や上組西部線歩道設置工事、県営事業としての基幹農道川棚西部地区、川棚港埋立地緑地整備事業等が継続事業として計上されました。

また、町制施行85周年記念事業、子育て応援金支給事業、第3分団中山支隊の小型動力ポンプ付積載車更新が予算化されました。



本会議討論・採決（要旨）

一般会計予算

反対討論 久保田議員

消費税10%への増税が前提になっている予算であるので反対する。

賛成討論 山口議員

予算は施策と関連させ総合的な見地から判断すべきで「安全・安心な町づくり」や「少子高齢化対策」等、施策にバランスのとれた予算編成であるので賛成する。

国民健康保険事業特別会計予算

反対討論 久保田議員

国保加入者の貧困化、高齢化等が進む中で、国保税に対する負担が重くなっているので反対する。

賛成討論 堀池議員

広域化がスタートし糖尿病性腎症重症化予防事業に取り組まれる等、町民の疾病予防や健康を維持するため総合的に配慮されていると判断し賛成する。

賛成討論 堀田議員

国保加入者が助け合うための制度で、より安定的な国保財政の運営を図るための予算となっており賛成する。

後期高齢者医療特別会計予算

反対討論 久保田議員

年金受給者が年金削減と消費税増税の直撃を受けることになり、制度は高齢者を苦しめるので反対する。

賛成討論 堀池議員

国民全体で支え合う制度であり、予算は適正に編成されているので賛成する。

介護保険事業特別会計予算

反対討論 なし

賛成討論 堀田議員

介護サービス、地域支援事業、高齢者家族に対する支援、配食サービス等各種事業に取り組む予算であるので賛成する。

採決

一般会計ほか2件は、討論のあと採決の結果、賛成多数で原案可決しました。介護保険事業特別会計は、討論のあと全会一致で原案可決しました。観光施設事業特別会計ほか2件は、討論はなく全会一致で原案可決しました。

平成31年度予算額		前年度比 (%)
一 般 会 計	65億9400万円	111.5
特別会計	国民健康保険事業	18億円
	後期高齢者医療	1億8178万円
	介護保険事業	13億5648万円
	観光施設事業	7800万円
下水道事業 (公営企業会計)	9億6686万円	100.8
水道事業 (公営企業会計)	4億5658万円	94.6
合 計	114億3371万円	105.2

* 万円未満は四捨五入して表示をします。

13項目の意見を提出 予算審査特別委員会

- ①ふるさと応援寄附金の返礼品については、魅力ある商品開発を行うとともに、新たなふるさと応援寄附金サイトも活用し、寄附金の増額に努められたい。
- ②個別施設管理計画策定業務については、長期的な視点をもって、更新・長寿命化などの方針を定め、財政負担の軽減・平準化を図られたい。
- ③新庁舎の建設に当たっては、住民サービスへの支障とならないよう配慮することともに、役場庁舎建設委員会など各方面の意見をよく聞いて建設を進められたい。
- ④手話通訳者の配置については、障がい者の窓口利用がしやすくなるよう配慮されたい。
- ⑤30歳代を対象とした健診事業については、趣旨普及に努め、多くの人に受診してもらえるよう取り組まれたい。
- ⑥合併処理浄化槽については、設置推進に取り組むとともに、維持管理費に対する補助制度を早急に検討されたい。
- ⑦地区からの環境整備要望については、今後も誠意を持って対応されたい。
- ⑧基幹農道川棚西部地区や社会資本整備総合交付金事業における町道3路線の工事に関しては、完成予定が遅れている。早期完成を目指し、今以上の取り組みに努められたい。
- ⑨川棚港埋立地緑地整備事業においては、早期の完成が待ち望まれている。平成31年度は、さらに工事が進捗するよう県へ要望されたい。
- ⑩コミュニティ・スクールについては、スムーズな運営ができるよう努められたい。
- ⑪医療費の分析業務については、分析結果を保健指導に十分活用し、町民の健康維持に努められたい。
- ⑫大崎観光については、観光客の増加に繋がるような施策に取り組まれたい。
- ⑬下水道事業については、未接続世帯の早期接続の推進に取り組むなど健全経営に努められたい。

をピックアップ

小型動力ポンプ付 積載車更新

(第3分団中山支隊)
813万円



新庁舎建設事業

新庁舎建設に係る実施設計、第2別館棟改修工事など
(移転及び本庁舎解体を含む)
6億1424万円



子育て応援金アップ

第三子以降、1歳到達時のお祝い金を
10万円から15万円にアップ



この事業以外にも、
継続事業として、町道
上組西部線歩道設置工
事(上組～中山)、町
道中倉線改良工事(下
組)や基幹農道川棚西
部地区の整備事業等を
予算化しております。

ドライブレコーダー の設置

公用車へドライブレコーダーを3年
程度で設置



災害への備え

毛布・災害非常食・飲料水などを
中央公民館・いきがいセンターへ
備蓄



新年度の事業

町制施行 85周年記念事業

町民運動会・NHK公開収録・
記念講演会など



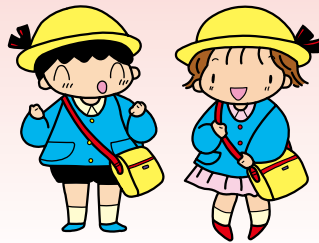
高齢者の見守り

「緊急通報システム」に加え、「人感
センサー」を導入



幼児教育・保育の 無償化を実施

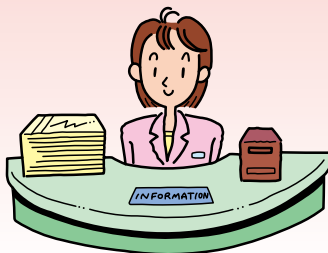
10月より国の施策として実施される



今年は
このような
事業を
行います

手話通話者の 役場窓口配置

毎月2回配置
第2水曜日 8時30分から13時
第4水曜日 13時から17時



若年層対象の 健診事業

健康意識の向上を図るなど、30歳
代の若年層を対象とした健診事業



予算審査での主な質疑

平成31年度予算のここが聞きたい

質 数石地区防火水槽整備工事の内容は。

答 消防自動車1台分の駐車スペースを確保し、他車の走行の支障とならないような形で防火水槽に隣接して駐車できるようにする。



数石地区防火水槽付近

質 ふるさと応援寄附金を増やす取り組みは。

答 返礼品を200品目位まで増やすとともに、新たにふるさと応援寄附金サイト「さとふる」への参加を予定している。

質 町制施行85周年記念事業の内容は。

答 NHKラジオ「上方演芸会」の公開収録、町民運動会などを予定している。

質 浄化槽設置整備事業補助は、7人槽高度処理型の17基分であるが、申請がそれを超えた場合はどうするのか。

答 平成30年度の残り枠4基分に対応する。

質 介護予防通いの場事業とは。

答 通所による介護予防を提供する団体等に家賃などを補助する。

質 基幹農道川棚西部地区の用地交渉は進んでいるのか。

答 残り4筆について用地交渉を行っており、3筆については平成31年度中に買収できるよう交渉を進めている。



基幹農道川棚西部地区(野口付近)

質 地区からの環境整備要望への対応は。

答 平成28年度から平成30年度までに建設課関係で133件の要望があり、毎年約20件に対応してきた。平成31年度は24件分を当初予算で計上している。

質 川棚港埋立地緑地整備事業の進捗状況は。

答 平成30年度は企業誘致の関係により、町側から工事のストップをかけていたため進展しなかった。平成31年度は県へ約1億円の事業実施を要求しており、工事が進捗することを期待している。



川棚港埋立地緑地整備予定地

質 平成31年度から町内の小・中学校で「コミュニケーション・スキル」を実施すると説明があったが、予算計上していないのか。

答 判断が遅れて準備が整わなかった。各学校から要望があれば補正予算で対応していきたい。

質 小・中学校にエアコンが設置されるが、ランニングコスト等はどうに考えているのか。

答 6月末までに設置する予定であり、光熱水費を増額している。

質 公共下水道の未接続世帯への対応は。

答 地元説明会等を行い早期の接続を要請していく。また、未接続世帯の予備調査等で戸別のデータ作成を考えている。

平成30年度 補正予算

《すべて全会一致で原案可決しました。》

◎一般会計補正予算（第4回）	決算見込みにより	1603万円	減額
◎国民健康保険事業特別会計補正予算（第3回）	決算見込みにより	9461万円	減額
◎後期高齢者医療特別会計補正予算（第3回）	決算見込みにより	21万円	増額
◎介護保険事業特別会計補正予算（第3回）	決算見込みにより	30万円	増額
◎下水道事業会計補正予算（第3回） （公営企業会計）	資本的収入	2300万円	増額
	資本的支出	2300万円	増額
◎水道事業会計補正予算（第2回） （公営企業会計）	収益的収入	724万円	減額
	収益的支出	1621万円	減額
	資本的収入	120万円	増額

条例に関する議案

- ・川棚町条例の拗音^{ようおん}及び促音^{そくおん}に関する条例
- ・川棚町国民健康保険出産費資金貸付事業条例を廃止
- ・川棚町漁港管理条例の一部改正

ほか5つの条例の一部改正

すべてを全会一致で原案可決しました

全会一致で同意しました



しおや きょうすけ
塩谷 京介氏
(平島3丁目)

固定資産評価審査委員の選任

議案内容	議席番号	議員名												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	結果	山口隆	田口一信	三岳昇	久保田和恵	(欠員)	堀田一徳	堀池浩	波戸勇則	小谷龍一郎	高以良壽人	小田成実	福田徹	村井達己
川棚町固定資産評価審査委員会委員の選任について同意を求める件	同意 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度川棚町一般会計補正予算（第4回）ほか5件	原案可決 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
川棚町条例の拗音及び促音に関する条例 ほか7件	原案可決 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町一般会計予算	原案可決 11:1	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決 11:1	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決 11:1	○	○	○	●		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町介護保険事業特別会計予算	原案可決 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町観光施設事業特別会計予算	原案可決 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町下水道事業会計予算	原案可決 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○
平成31年度川棚町水道事業会計予算	原案可決 全会一致	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○

賛否表

3月定例会

○は賛成 ●は反対

し議会からの意見を提出

これから必要となる交通手段「自治会バス」

総務厚生委員会

件名 「自治会バス事業」について

期日 平成29年6月19日～平成31年3月14日

調査の経過

○三越・惣津・西白石公民館において説明会

○川棚町中央公民館、西白石北公民館において西部地区総代会

等と意見交換

他、18回の委員会を行った。

まとめと意見

前委員会での「コミュニティバスや乗合タクシーなどの調査研究の結果を踏まえ、本委員会では「自治会バス」について、地域住民への情報提供を行ってきた。

具体的な取り組みとして、西部地区総代会と協議を重ね、アンケート調査を行い、また各自治会への説明会及び総代会に同行しての小郡市視察などを行った。

西部地区総代会では検討を重ね、平成30年9月に「川棚町西部地区自治会バス運行協議会」が設立され、行政と具体的な協議が進められてきたが、平成31年1月に長崎運輸支局から、各自治会の負担金が道路運送法に抵触するとの見解が示され、これまで検討してきた手法では実現が困難になった。

しかしながら高齢化が進む中、本委員会では、自治会バスは本町の住民にとって必要不可欠な交通手段と捉えており、今後も行政は、西部地区総代会及び川棚町西部地区自治会バス運行協議会と連携し、NPO法人等の設立も含め運行実現に向け積極的に取り組まれない。

地権者との真摯な話し合いの場を

石木ダム対策調査特別委員会

件名 石木ダム建設事業等に関すること

期日 平成27年6月18日（設置）～平成31年3月4日

経過と概要

平成27年6月18日に本委員会が設置されて以降、平成31年3月4日までの間に29回の委員会を開催し、石木ダム建設に関する現状等について町や県からの説明も受けながら委員会としての対応等について協議してきた。

また、佐世保市内のダム等の現状について視察調査を行ってきた。

委員会の意見

①県に対しては、石木ダム問題を早急に円満に解決するため、地権者との真摯な話し合いの場を持つよう、今後一層努力されることを望む。

②町においては、地権者が町民の一人として、防災という行政目的に協力していただくことについて理解を得られるよう、様々な形で努力されたい。

③水源地域整備計画における事業は、町が事業主体となるものが多くなると見込まれることに鑑み、町は、町民全体の理解を得るものとするよう、計画策定の段階から主体性を持って取り組まれない。

④地権者の方々には多大なご心労をかけてきたが、石木ダムの建設について、防災という行政目的に協力していただくことを切に望む。

各委員会で諸課題を調査

町民から親しまれる庁舎建設を

新庁舎等建設調査特別委員会

件名 新庁舎等建設に関すること

期日 平成29年12月15日（設置）～平成31年3月15日

調査の経過

佐賀県みやき町、福岡県広川町、熊本県山鹿市・大津町、西海市の先進地視察を行った。
行政との意見交換など10回の委員会を行った。

委員会の意見

- ①「町民が利用しやすく親しみやすい、安全・安心を築く庁舎」とする基本理念のもと、町民本位の庁舎の建設を図りたい。
- ②庁舎建設については、議会への説明・協議並びに町民に対する情報発信を丁寧に行われない。
- ③建設工事については、地元業者の育成などの観点から可能な限り地元業者の活用を図りたい。
- ④工事期間中は、来庁者等に対する安全対策を十分行うとともに、住民サービスに低下をきたさないように努められたい。
- ⑤議会の要望については、誠意を持って対応されたい。

身近な議会を目指して

議会広報広聴特別委員会

件名 議会広報広聴について

期日 平成27年6月18日（設置）～平成31年3月8日

調査概要

平成27年4月の改選後、議会活性化、議員資質の向上に加え、情報発信と情報収集に取り組み、町民と接する機会を数多く作り、更なる開かれた議会を目指すことを目的に広報広聴特別委員会を設置した。

まとめ

本委員会は開かれた議会、身近な議会を目指し全議員で取り組んできた。

議会自ら各地区へ出向き町民との距離感を無くしながら報告会や意見交換を重ねてきた結果、議会、町民相互にあらためて知り得た情報や理解できた部分もあり、本委員会の目的に対し一定の効果があったものと判断している。

今後の課題として、議会報告会、議員懇談会、議場開放等における若者世代や女性をはじめ、参加者の増員を図るための内容や新たな手法も研究し、更なる議会活性化に努める必要を感じたところである。

所管事項に取り組む中で出てきた町民からの町政や議会に対する意見、要望等については行政、議会が把握するだけに留まらず、いかに反映させ実現させていくのが検討課題である。

また、新庁舎建設を機にインターネットを活用した動画配信、同時中継などの取り組みについても調査研究が必要である。

一般質問 5名が 登壇!

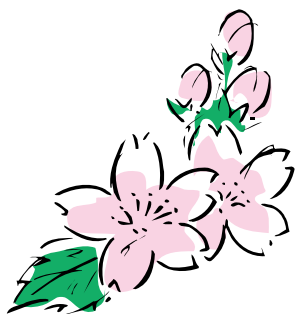
一般質問とは……

町政全般の諸課題について、本会議で町長等に質問するものです。

制限時間は50分です。

会議録はホームページ及び図書室で閲覧できます。

- ① 福田 徹 議員 (P.11)
☆「西九州させぼ広域都市圏」について
☆新庁舎建設後の第二別館の活用について
- ② 久保田 和 恵 議員 (P.12)
☆石木ダム建設事業について
☆改正水道法について
☆九州電力玄海原子力発電について
- ③ 堀 田 一 徳 議員 (P.13)
☆職場環境の向上について
☆職員政策研究会議について
- ④ 田 口 一 信 議員 (P.14)
☆郡内各町のイベントについての広報の相互協力について
- ⑤ 村 井 達 己 議員 (P.15)
☆戦時遺構のジオラマ作成について



A 一般選挙後の最初の議会や、議長及び副議長がともに欠けたとき、議場に居る議員の中から最年長者が充てられます。

Q 臨時議長ってな〜に

ギカイのはまな





福田 徹 議員

「西九州させば広域都市圏」の 連携事業の目的は

活力ある社会経済を
維持することである

町長

佐世保市と周辺10市町が「西九州させば広域都市圏連携協約」を締結し、44事業に取り組み計画であり、本町の事業参加や取り組みに注視している。

福田 「西九州させば広域都市圏連携」の目的は。

町長 佐世保市と周辺の10市町が連携し、コンパクト化とネットワーク化により、人口減少、少子高齢社会においても一定の圏域人口を有し、活力ある社会経済を維持することが目的である。

福田 連携する事業の選択の根拠と効果の目標は。

町長 農林水産物特産品販路拡大事業により、特産品の周知と販路拡大や事業者の増加を図ることを目的とし、その効果を期待している。また、ホームページやフェイスブックなどを活用し、全国の移住希望者に、移住体験ツアーや共同移住相談会などを行い、移住定

住者の掘り起こしや獲得につなげる。

この他に、図書館相互利用サービス事業など、本町の担当部署で事業ごとに効果が見込まれるのか検証し20事業に取り組みことを決定した。

福田 会議出張など職員の負担が大きくなると思われるが、本町事務への影響はないか。

町長 職員の負担も増えてくると思うが、地域経済の活性化や人口減少対策に効果が期待できると考え取り組んでいきたい。

福田 本町から提案した事業はあるのか。

企画財政課長 本町からの提案はない。

福田 事業の検証方法は。

企画財政課長 協議会やビジョン懇談会で検証し、成果についてはPDCAサイクルで毎年公表する。

新庁舎建設後の第二別館 の活用は

新庁舎建設計画が進む中、第二別館は改修し利用することのだが、有効活用が望まれる。

福田 図書室を移転し図書館として活用できないか。

町長 騒音レベルが高く、面積が確保できないので図書館としての活用は困難である。

る。郷土資料館及び各種団体事務室、会議室、資料収蔵庫として活用する

福田 新庁舎建設と同時に改修を行えば、工事費の縮減が図られるのでは。

町長 耐震診断と耐震補強の設計を行い改修しなければならぬので、新庁舎建設の工程に影響を及ぼすため、同時に進めることができない。



第二別館全景

石木ダムの反対地権者に 寄り添う気持ちは



久保田 和恵 議員

町民の安全・安心の確保のため ご理解をいただきたい

町長

町の将来像を「自然を愛し、くらし輝くまち」と定め取り組まれ、昨年の町長選後の挨拶で「多くの皆様のご意見やご要望に耳を傾け、町政に反映し、あなたが主役の町政につくす」と述べられた。

久保田 主要課題である「石木ダム建設事業」について一言も述べられてないが。

町長 これまで町民が主役の町政を推進してきた。

石木ダム建設については、本町は過去に大きな被害を経験しており、治水対策は喫緊の課題である。住民の安全・安心を確保することが行政の責務であり、ダム推進に向け県・佐世保市と一体となって取り組んでいく姿勢は今も変わっていない。

また、第5次総合計画にはダム建設による周辺地域整備の取り組みを記載し、随時議会にも報告している。

久保田 町長は反対地権者に寄り添う気持ちはあるのか。

町長 すでに、8割の方は事業にご理解いただき移転されている。

反対地権者の思いは十分理解できるが、多くの町民の安全・安心の確保のために、一日も早くダム事業に対してご理解をいただきたいと願っている。

久保田 佐世保市の水問題で、本町の自然が破壊されようとしている。憲法を無視し、民主主義に背を向けている県知事に何もしない、何も言わない町長の姿勢を訪ねる。

町長 石木ダム事業は公益性が認められ、法に基づく事業認定の告示がされ、必要な時には司法の判断も仰ぎながらすすめられている。県知事は憲法を無視し、民主主義に背を向けているとは思わない。



川棚川

改正水道法について

昨年12月に改正水道法が成立し、運営権を民間企業に売却できる「コンセッション方式」を導入できるようになった。

久保田 水は国民の生命、生活、経済活動を支える重要なライフラインであるが、改正水道法では、衛生的な生活を営む権利が崩壊しかねない。

町長 改正水道法の「コンセ

ッション方式」は、運営委託方式であり、運営権を売却する完全民営化ではない。

今回の改正は、市町村の関与を強化し、「コンセッション方式」を採用した場合でも、市町村の最終責任の下でサービスを維持・運営することが可能となるが、本町では採用する考えはない。

玄海原子力発電について

福島第一原子力発電所の事故から8年経過したが、いまだ解決すら見えない中、玄海原子力発電所の3号・4号機を再稼働した。

久保田 50km圏内の自治体として、再生エネルギーの利を進め、原発反対を表明する考えは。

町長 原子力発電についての政策は、エネルギー政策基本法にのっとり国が行うべきもので、原発に反対の意思を表明する考えはない。



堀田 一徳 議員

職場環境の向上を

現状を把握し対応に努めている

町長

町民への行政サービスを充実させるためには、人材育成とともに、適材適所の人員配置、職場環境の向上等により、職員の勤務意欲の高揚、公務能率の向上を図ることが重要である。

堀田 過去5年間の、職員の病気休暇、長期欠勤、中途退職の状況は。

町長 病気休暇は、平成26年度から現在までの5日間で上の休暇で見れば、延べ28件となっている。長期欠勤は、該当者は無い。

中途退職者は、平成25年度2名、26年度1名、27年度1名、28年度3名、29年度5名となっている。

堀田 ストレスへの気付きとその対処を支援し、職員がメンタル不調となることを未然に防止するためのストレスチェックは、実施しているのか。

町長 平成28年度から全職員を対象として実施している。

堀田 各部署の業務内容と人員配置を適正なものにするため、職員定員適正化計画を定める考えはないか。

町長 各部署の仕事内容や人員配置等については、新たな事業や制度の創設、社会情勢の変化などにタイムリーに対応していく必要がある。計画を策定して行うものではないと考えている。

堀田 今後、子育て支援、新庁舎建設など、事務量が増えてくることが予想される。

職員数については、減らすばかりではなく、増員についても考える必要があるのではないかと。

町長 今後どのような事務が増えていくのか、現時点では未定であるので、具体的な状況が発生した時点で判断していく。

堀田 適正化計画を策定することで問題点の把握ができ、職場環境も良くなるのではないかと。

副町長 職員の状況等については、ストレスチェック、人事評価、職員組合との交渉等により把握する機会はあるので、その時の状況に応じて柔軟に対応していきたい。

堀田 職場環境改善のため、職員に対し無記名でアンケートを実施する考えはないか。

町長 職場環境の改善に当たっては、改善すべき内容や改善の方策等について深く掘り下げて検討する必要がある。

無記名でのアンケートは、意見の集約方法として実効性に欠けるので考えていない。

職員政策研究会について

社会情勢の急激な変化に的確かつ具体的に対応し、住民サービスをさらに向上させていく取り組みが必要である。

堀田 平成23年4月に制度化された職員政策研究会での検討結果は、町政に反映させているのか。

町長 これまで「観光の活性化」「東彼杵郡3町合併」「地区担当職員制度」「財政運営の健全化」の4項目について調査研究を行ってきた。その中で、地区担当職員制度の創設と財政運営の健全化に関し、ふるさと納税の返礼品目の増加など、政策に反映させている。



3町の広報誌に イベント案内の掲載を



田口 一信 議員

町長

他の2町とは配布の方法が
異なっており難しい

郡内で各種イベントが行われているが、各町の広報誌に掲載できれば町民が他町のイベントも楽しむことができ、主催者も多く集客が期待できる。

田口 郡内で各種イベントが行われているが、3町が予め合意し、各町の広報誌に主催者から要請があれば掲載に協力することはできないか。

町長 他の2町のイベントの広報は、原則として開催チラシを作成して配布する方法をとっている。また、紙面の都合上、対応は難しいと判断している。

田口 紙面が限られているという事情はわかるが、お互いが協力して郡内のイベントを觀賞していただきたいという趣旨についてはどう思うか。

町長 趣旨についてはわかるが、各町と連携して取り組むことは難しい。紙面を増やせば経費増になり、現状では3町の編集や配布の方法が違うので難しいと思う。

田口 仮に3町合同の主催団体という形もあり得るが、そういったものの扱いはどう考えるか。

総務課長 現在、3町持ち回りで開催されている団体等があり、この場合は、他の2町で開催される時には紙面を割いて掲載している。広報内容によるが紙面づくりでは編集で非常に苦労しており、そのために紙面を確保する協定は難しいと思う。

田口 3町のイベントを各町で広報した方が町民のために良いと考えている。実務的な難しさがあると思うが、何か方法はないのか。

町長 紙面が多くなり、本来広報で町民にお知らせする内容が希薄になる懸念があり難しいと思うが、3町でイベントだけの広報誌を作れないか協議をしたい。

田口 3町連携して対応できないのか、引き続き検討してもらえないか。

町長 イベント情報誌を3町で発行すれば問題が解決できるので、今後担当で研究を進めようになりたい。



このイベントは終了しました





村井 達己 議員

戦時遺構のジオラマ作成を

資料としての有効性を
感じており、検討したい

教育長

戦争体験者や、史談会の方も高齢化していく中、戦争によって大きく変わった本町の歴史の継承が危惧される。町内各所に点在する戦時遺構を集約したジオラマを作成し、平和学習や観光面での利用など、本町の歴史の継承に活用できないか。

村井 平成24年6月定例会での質問に対し、当時の教育長が「資料館の整備を検討していく中で、ジオラマの作成を是非考えていきたい。」と答弁された。当時の教育長からの申し送りも含め、ジオラマ作成について検討はされているのか。

教育長 新庁舎建設の関係から、郷土資料館の移転整備が具体的に動き出している。新庁舎完成後は現在の郷土資料館は取り壊される計画であるため、現在ある収蔵品は、新庁舎が完成するまでの間、郷土資料館の2階と浄水場に保管され、第2別館が耐震工事等の整備が行われた後に移転する

予定である。収蔵品の中には民族的・歴史的な資料等の他、特攻艇「震洋」の模型や文獻写真など戦時中の関係資料も数多くあり、移転後は戦時コーナー等を設置するなど展示方法を検討している。

ジオラマの作成についても規模や精度、製作費用、活用方法等、有識者の意見を聞いて十分に検討したい。

村井 町内外を問わず多くの方に、より川棚町を知っていただけるよう戦時遺構のジオラマを作成し新庁舎内に設置できないか。

教育長 いろいろなジオラマの見本を見て資料としての有効性を感じている。新庁舎の玄関ホールに展示をして、来庁者に川棚町のことを広く知っていただくとともに、戦時遺構を平和学習などにも活用できると考えている。



東彼杵町歴史民俗資料館のジオラマ

村井 戦時遺構を広く知っていただくために、ジオラマ作成以外の考えは。

教育長 本町の航空写真に戦時遺構である特攻殉国の碑や片島魚雷発射試験場跡などの場所を表示することも有効であると考えている。

自治功労者表彰

町内の議会議員として永年在職している議員に対し、表彰の伝達が行われました。

全国町村議会議長会表彰

(議員27年)

初手 安幸 議長

全国町村議会議長会表彰

(議員15年)

福田 徹 議員



表紙写真を募集します

町内の昭和30年頃までの古い写真をお持ちの方で、お貸しいただける方を探しています。

お問い合わせは、議会事務局までよろしくお願い致します。

TEL 0956-82-5216

Facebook開設しています

公式「川棚町議会 Facebookページ」を開設しています。このページでは、議会のできごとや会議の予定、結果などをお知らせします。

川棚町議会



議員と語ろう会の窓口を設置しています。

議員懇談会

議員と語ろう会は、町内の各種団体や行政地区から町政や町議会に関することやその他のテーマを掲げて申し込みがあった場合、議員が出向いてご意見、ご提言などざっくばらんな意見交換の場として開催します。

お気軽にお申し込み下さい!!
お待ちしております。

開催を希望される各種団体は、開催予定の1ヵ月前までに、開催申込書を提出して下さい。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせ下さい。

TEL0956-82-5216

(直通)



あとかぎ

平成31年度予算が可決され、新年度が始まりました。

いよいよ新年度から平成32年度末の完成予定で役場庁舎の建設が始まります。本町のシンボルとなるような庁舎になればと思います。

今回の議会だよりが現編集委員での最後の発行となりました。これまで十分な議会活動などの広報ができていたが不安もありますが、ご愛読いただきありがとうございます。

今後も読みやすい紙面づくりと内容の充実に努めていきますので、よろしくお願いたします。

○3月定例会は、19人の傍聴がありました。

議会だより

編集特別委員会

委員長

副委員長

堀田 一徳

堀池 浩

波戸 勇則

小谷龍一郎

高以良壽人

小田 成実

発行責任者

議長

初手 安幸